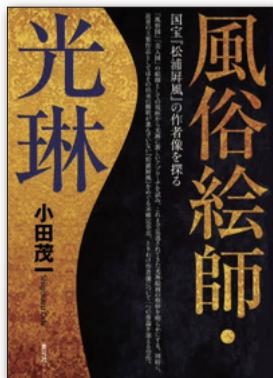


著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。

風俗絵師・光琳
国宝『松浦屏風』の作者像を探る
創造表現学部・教授・
小田 茂一

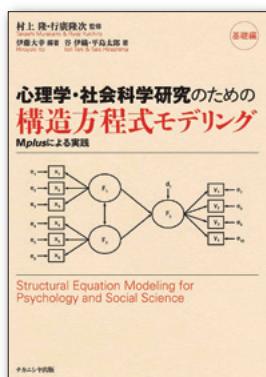
- ▶A5判 ▶168ページ ▶青弓社
- ▶2,000円+税
- ▶2018年10月25日発行
- ▶「風俗図」「美人図」の絵師という新たな視座から江戸元禄期の画家・尾形光琳に着目し、見逃されていた側面への推論を加えながら、制作時期・作者不詳の国宝『松浦屏風(婦女遊楽図屏風)』との近似性を明らかにし、その作者像に迫る。



心理学・社会科学研究のための構造方程式モデリング

Mplusによる実践 基礎編
健康医療科学部・准教授・
谷伊織(共著)
心理学部・講師・平島太郎(共著)

▶B5判 ▶226ページ
▶ナカニシヤ出版 ▶3,800円+税
▶2018年9月20日発行
▶本書は多変量解析の包括的な枠組みであり、非常に柔軟なモデル構成が可能である構造方程式モデリング(SEM)を基本原理から丁寧に解説し、最先端のSEMのプログラムであるMplusを用いての実際の研究への応用の指針まで示した入門的な解説書である。



図書館情報資源概論
人を育てる情報資源のとらえかた
図書館・事務主任・山田稔(共著)

- ▶A5判 ▶186ページ
▶ミネルヴァ書房
▶2,600円+税
▶2018年9月10日発行
▶図書館は、語り継がれた情報の記された情報資源を、保存しながら利用する場所だ。本書は、情報を伝え残すための保存と利用の工夫を紹介。粘土板文書から印刷にいたる書物の歴史、情報のデジタル化や暮らしの多様化に応じて情報を届ける図書館の取り組みを解説。



ミュージアム・
コミュニケーションと
教育活動

創造表現学部・准教授・
藤田 良治(共著)

- ▶四六判 ▶254ページ ▶樹村房
- ▶2,000円+税
- ▶2018年5月31日発行
- ▶博物館を動かしているのは多くの人で、博物館の諸活動に関わることで博物館は活性化し、息づくのである。著者は博物館をフィールドとした専門家たちで、それぞれの視点から博物館の「人」に焦点をあてた研究や実践的活動について、とてもわかりやすく書かれている。

MUSEUM
INFORMATICS
SERIES 5

博物館情報学シリーズ
ミュージアム・コミュニケーションと
教育活動



藤田 良治

体育・スポーツ書集成

第IV回 明治期体操学校
体育・体操書 全六巻

健康医療科学部・准教授・
矢野裕介(共編)

- ▶A5判 ▶全6巻
- ▶クレス出版 ▶96,000円+税
- ▶2018年11月25日発行
- ▶明治期の体育専門学校は、明治20年に官立の体操伝習所が閉鎖された後、私立の東京体操伝習所と日本体育会体操練習所が体操教員養成の役割を担った。各巻では、その二校の設立の経緯と活動の概要に関する資料を収録・紹介している。



ポスト情報メディア論

創造表現学部・講師・
松井広志(共編著)

- ▶四六判 ▶236ページ
- ▶ナカニシヤ出版 ▶2,400円+税
- ▶2018年9月30日発行
- ▶インターネットやソーシャルメディアが普及した「後」の社会を「人・モノ・場所のハイブリッドな関係性」という視座から読み解く論集。
- ▶ファッション、アイドル、ゲーム、観光、求人メディア、社会運動など、現代社会のさまざまな文化や社会事象の変容について各章で論じている。

